

おれんじの屋根

施設長より

似てはいても意味は正反対の「怒」(思いやり)と「怒」(いかり)

1月号でお話しました設置が義務化された虐待防止委員会を、育成会では、法人として立ち上げ、5月に第1回目の委員会を開催しました。

虐待に関する法令や防止対策、指針等の説明・検討のあと、意見交換を行いました。保護者の一人から「『虐待』ということばは大きい」という意見がありました。

確かに、「虐待」は、大きくて重い言葉です。その(厚生労働省の手引にあるような)「虐待」さえしなければそれでよいのか?と言うと、やはり違うような気がします。虐待には至らないけれども、温かみに欠ける、配慮が足りないといった対応のレベル(これは、一人の人間として、周りの人に対する接し方の問題かも知れませんが)、さらには、人と関わる・支援する専門職として気をつけたい・気をつけてほしい対応のレベルというものもあるでしょう。「虐待」を根本から防ぐためには、「虐待」に至らないこういったレベルの行為を一人一人がどう考えるかがとても大事であり、突き詰めると、自分がされてうれしいのか、嫌でないのかといったことになっていくだろうと思います。

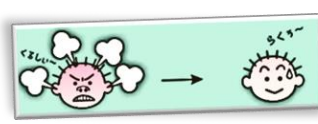
このことを考えているときに、高校の漢文で習った、孔子の「怒(じょ)」という言葉思い出しました。《「ひとことで、一生行っていくに値することはありますか」という弟子の問いに、孔子が「それはまず怒(思いやりの心)である。それは、自分がされて嫌なことは人にしてはいけないということだ。」と。》というものです。

この「怒」(思いやり)と、「怒」(いかり)は、非常によく似た漢字でありながら、「怒」は、「相手を受け入れ、気持ちを思いやる」、「怒」は、「相手を無理やり従わせる」と、まったく正反対です。が、この「怒」も「怒」も、「虐待」を考えるときにはとても重要なキーワードとなります。

「虐待」は、「怒り」から始まることが多く、施設等で虐待事件が起きたときにも、「利用者が指示に従わなかったから」といったことが加害職員の理由としてよく挙げられます(利用者さんは指示に従わなければならないという前提や認識自体が問題ですが)。従わなかったことで「怒り」が湧き出て、「虐待」に及んだのでしょうか。

人間である以上、「怒り」が湧いてくることは当然あるでしょう。ですが、できれば、自分で制御したいもの。その「怒り」をコントロールする方法に、「アンガーマネジメント」がありますが、この方法では、“自己の《……するべき》”という考えから自由になる”“まあいいか”という考えを持つ”ことなどが重要とされています。これまで述べたとおり、「怒(じょ)」には、こういったことが含まれているように思います。

私たち福祉に携わる者に限らず、教育や保育、医療など、職業として人と関わる者は、「怒り」ではなく、似てはいても意味は正反対の、“相手を受け入れ気持ちを思いやる”「怒」を日常的に追求していきたいものだと思っています。



書き遊ぶ

「見た目の年寄り」

ゆうゆう会会長の瀬上です。もう収まるかと思ったらコロナ第7波に入りました。十分お気をつけください。

遠くから見て、あの人は高齢者だとわかるシルエットがあります。体の3か所が曲がっているのです。

まず腰、そして背中、首です。これらが曲がるのは筋肉の衰えのせいで重力に耐えられず次々と曲がっていきます。逆に言えばそれが本人にとって一番楽な姿勢ですが中には両肩が内側に曲がる『巻き肩』も人もいて、関節が歪み動作に支障をきたしたり、神経や内臓を圧迫して健康にも影響します。



椅子の背当ての下が空いているのはそこにお尻を入れて腰が曲がりにくくするためでもあります。『気を付け』をして両手の平を前に向けると肩甲骨が正しい姿勢に近づけます。

街を歩くとき、ショーウィンドウを見てチェックしましょう。柱や壁に背中を当てて真っすぐな姿勢を体に覚えさせましょう。

こりゃきついと感じたら・・・曲がっています！



セタ&ソーメンまつり



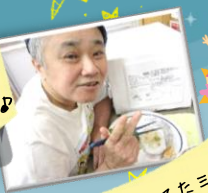
職員手作りの天の川をくぐります。



天の川の前で記念撮イェ〜イ



今日の昼食は・・・セタメニューです(^.^)



天の川に見立てた三色とうめん、星形のポテトにスイカetc



セタをイメーজしたクリームソーダ、クリームソーダ、ジュワシユワ



Nice!



今年も立石工務店の吉田様からスイカをいただき、みんなでスイカ割りをして、その後おいしくいただきました。甘くておいしかったあ〜(^.^)ありがとうございました!

給食室より



イベントメニュー

- 8月 3日 誕生会
- 8月 12日 リクエストメニュー(昼食)
- 8月 15日 お盆メニュー
- 8月 31日 リクエストメニュー(昼食)



野菜の日



8月31日は、8(や)3(さ)1(い)の日です。
トマトやきゅうり、オクラといった夏野菜は水分やカリウムを多く含み、体を冷やしてくれるので夏の体調管理にピッタリ。しょうぶの里の畑でも、夏野菜がたくさん収穫されています。体の中からおいしくクールダウンしましょう。

医務室より

新型コロナウイルス感染者急増!

7月12日、熊本県の新規感染者数がとうとう2000人台になり、16日には2750人という衝撃的な数字を目にすることになりました。人口10万人当たりの新規感染者数の順位は全国3位です。(7月19日現在) 現在主流(?)の変異株はBA.4、BA.5、BA.5.1等です。感染力がBA.2等に比べると1.3倍速いといわれています。
またBA.5へのワクチンの効果について、アメリカのハーバード大学の研究では、「効果は今までの1/3程度になる。置き換えが進む新型コロナウイルスのオミクロン株BA.5について、免疫をよける特徴が強まっているために、ワクチンの効果が少なくなるという結果になった」と回答しています。
しかし、今回の第7波の感染者の中には、ワクチン未接種の人が重症化している傾向があり、重症化を防ぐには効果が見られているようです。ワクチン接種を定期的に行うブースター接種については効果が高まることがわかっています。
しょうぶの里でも第4回目のワクチン接種を(日程は未定)予定しています。

《8月の行事予定》

- ☆ 1日(月) 職員会議
- ☆ 3日(水) 誕生会
- ☆ 4日(木) 訪問歯科
- ☆ 11日(木) 山の日
- ☆ 15日(月) 職員研修会
- ☆ 17日(水) 白くまコンテスト
- ☆ 18日(木) 訪問歯科
- ☆ 20日(土) 熊本市牛をつなぐ育成会定期大会
- ☆ 25日(木) 訪問歯科

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

〜編集後記〜

7月8日、この日本においてとてつもなく恐ろしい事件が起き、日本中が驚きと悲しみに包まれました。私は(支持者ではありません)あの亡き妻は何となく好感を持ってました。ある日突然家族がなくなる...とてつもない悲しみ...しかし今戦争が起きている国では、そういうことが日常茶飯事で起きているのかと...恐ろしく悲しいことだと改めて考えさせられました。

〜第63号〜

令和4年7月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
Tel (096) 311-4588

